

委員会報告書

No.1

| | |
|-------|---|
| 委員会名 | 第1回100周年記念検討委員会 |
| 開催日 | 2016年9月8日(木) 15:00～17:00 |
| 開催場所 | 330複合地区ガバナー協議会事務局「会議室」 |
| 記録者 | L日下 勲 |
| 出席者 | 委員長宇田川 L・複合地区コーディネーター富田 L・B地区コーディネーター内田 L C地区コーディネーター武藤 L・副委員長戸田 L・加藤 L・星野 L・井上 L・L日下 委員嶋崎 L・今井 L・中澤 L・大塚 L |
| 次回委員会 | 未定委員長一任後日連絡 年 月 日(金) : 00～ : 00 場所: 330複合地区ガバナー協議会事務局「会議室」 |

[確認事項を項目ごとに記載してください]

【議 事】

副委員長戸田 L 司会にて定刻開会

委員長宇田川 L 挨拶:大変恐縮ですが連絡の不備も有り当委員会の現在の活動すべき状況を把握しておりませんので本日の会議の進行の中で前期の課題・新規の要望等をお聞かせください。

出席者の紹介:各自自己紹介

挨拶:複合地区コーディネーター富田 L コーディネーターの任期は4年で今期3年目に入りました。

三つの主要プログラムの一つ100周年記念会員増強は GMT・GLT・FWT チームの側面支援をする。

記念奉仕アワード4部門青少年・視力・飢餓・環境の推進活動の要請。

動員数については MYLCI にて出来るだけ多数として報告をする。

100周年に相応しいレガシープログラムを企画し永く記録を残す。

B地区コーディネーター内田 L 今期で3年目ですが次世代のリーダーの養成も考慮。

8月5日複合地区コーディネーター会議実施出席者は各地区 GV・第一・第二副地区がバナー・

複合地区コーディネーター・各準地区コーディネーター

レガシープログラムのスタートとして各クラブ内に100周年委員会を立ち上げアクティビティの報告を MYLCI にて登録する。

A地区企画の薬物乱用防止大パレード他地区に協力依頼も現時点で難しい模様。

B・C地区も当該がバナーの明確な協力依頼が行き届いていない模様。

C地区コーディネーター武藤L サバンナとMYLCIの2本立ては日本のみに残っているが国際協会はMYLCIに統一されている。

各クラブが100周年記念アクティビティの報告は参加人数と影響を与えた人数も計上する。

国際会長公式訪問挨拶の中で3億人の報告を受けた例もある。

報告は4分野青少年・視力・飢餓・環境に繰り込んで報告する。結論として会員増強に繋がる。

ライオンズクラブが100周年を迎える事をPRして欲しい。LCIFとの関連利用も可能です。

記念硬貨を作成し1枚売れると10ドルがLCIFの収益となります。

議題：協議会議長の諮問事項確認

当委員会として活動の模索

多少の予算を受理し前期幟旗を作成した。

A地区主催の薬物乱用防止大パレードの対応。

8複合地区に協力依頼は困難か？

現在B・C地区に浸透されていないが当委員会として協力依頼。

本来は担当委員会が直接PRすべきで有る。

当委員会は協力参加する。

各地区委員長報告

B地区委員会未開催

C地区委員長井上L 会長会・諮問委員会・ホームページ・メール等にて100周年のPRを実施。

次回の委員会は国際協会の要望やガバナー協議会の要請を含め宇田川委員長が決定する。

終了後12名の参加で和やかに懇親会を行う。